

会 議 録

会 議 の 名 称	第 6 回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会
開 催 日 時	令和 6 年 2 月 19 日(月) (午前・午後) 2 時 開会 (午前・午後) 4 時 開会
開 催 場 所	茨木市役所本館 6 階第 1 会議室
議 長	河合 将生 氏 (office musubime 代表、NPO 組織基盤強化コンサルタント)
出 席 者	【評価委員】 河合将生氏(NPO 関係者)、桜井政成氏(学識経験者)、高田和子氏(地域活動関係者)、板倉幸司氏(公募市民) (4 人) 【事務局】 吉田共創推進課市民活動グループ長、松井共創推進課職員 (2 人) 【関連課・担当課】 社会教育振興課、長寿介護課、北部整備推進課 (3 課)
開 催 形 態	原則公開
議 題 (案 件)	(1) 概要説明及び会議の公開・非公開の決定 (2) 各団体による事業報告及び質疑応答
配 布 資 料	・ 第 6 回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・ 令和 5 年度 チャレンジいばらき補助金申請事業一覧 ・ 事業報告関係書類 (個人情報を含むため省略)

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	開会及びあいさつ、本日の会議の概要説明 公開・非公開の決定について（原則公開） ----- 事業報告開始 -----
団体	【自由テーマ型】 アカペラ×エコ縁日～台地と水と人空と歌～ シゲイズム・ヒゲノミクス AquaNote 共同体
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
河合委員長	・前身となるイベントがあったとのことだが、そこからバージョンアップした当初の目的とその達成度は。 →市内の団体ともっとつながることが目的だった。達成できたと思う。
桜井委員	・エコ縁日というネーミングの理由と、市民への啓発の状況は。→イベントの中の→コンテンツとして行った「アンブレラスカイ」は廃材を使ったアート。価値がないと思われるものから手を加えることによって新しい価値を創造できるという、広い意味での「エコ」を伝えることができたと考えている。
板倉委員	・想定していた参加者数と比べて当日はどうだったか →アカペライベントで参加できる人数は100名ほどと見込んでいた。当日はそれよりもかなりたくさんの人に来ていただけた。
団体	【自由テーマ型】 いばらき孫・子・老ふれ愛フェスタ 茨木市高齢者サービス事業所連絡会
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
河合委員長	・次回以降の展望について →企画段階から学生に入ってもらうことで、学生にとっても色々な視点から福祉について考えてもらう機会にしたいと考えている。
板倉委員	・自己資金がかなりかかっているが。 →団体が高齢者施設の集まりなので、各事業所の年会費から捻出している。
団体	【自由テーマ型】 ①森林整備体験及びワークショップ②ミニクロスカントリー大会 上音羽倶楽部

関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
河合委員長	・事業の達成度が「ほぼ達成できた」となっているが、もう少し工夫したい点があるのか。 →「誰かのつて」ではなく、市民の人みんなに来てもらえるよう工夫をしたい。
河合委員長	・関わる人が楽しめば、熱を生んでくると思うので、そこからの広がりを工夫していただければ
高田委員	・イベント実施時の保険の加入状況は。 →加入はしているものの、環境整備のための作業など、一部カバーされていない範囲があるかもしれないと思っている。今後の事業実施の際には気を付けたい。
団体	【自由テーマ型】 トウモロコシ収穫祭事業 上音羽農業体験交流会
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
河合委員長	・今後の実施に向けて考えていることはあるか。 →1回目より2回目、2回目より3回目の方が参加者に喜ばれている実感はある。ただ、イベントを実施すると他所から多くの車が来ることによる渋滞の発生など地元迷惑をかけることもあり、うまく折り合いをつけていくことに課題を感じている。
高田委員	・実施にあたって不安や不満を持つ人の意見をしっかり聞き、不安については1つずつ丁寧に解消していきながら実施可否について検討していくことが、地域での活動においては必要だと思う。
団体	【自由テーマ型】 茨木市スポーツ交流事業 追手門学院大学ラグビー部
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
河合委員長	・次回の実施について →会場となる田んぼがある地域の方たちとの関係性がうまく築けていないのが課題。市内の別の場所での開催も検討しているが、現在は、茨木市の近隣他市から声がかかっている状況。できれば大学がある茨木市に貢献できるようなことができればとは考えている。

板倉委員	・地元の理解を得るために実施していることは？ →地域清掃に参加する話をしているが、あまりうまくいっていない。
団体	【自由テーマ型】 大岩ほたるの里 復活プロジェクト NPO法人北摂やままち倶楽部
関連課	【関連課 意見】 【質疑応答】
河合委員長	・事業実施にあたり協力者がいるのは心強いこと。しっかり記録して、活動が見える化されるよう発信を工夫してほしい。
板倉委員	・来年には蛍を一般に公開できそうか。 →来年はまだ厳しい。やはり３年スパンで考えないと厳しいように思う。
河合委員長	他に意見はないか。以上で報告を終了する。
河合委員長	事務局から連絡事項はないか。
事務局	次の開催は２月２０日、場所は本日と同じ会場となります。
河合委員長	以上で、第６回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会は閉会とする。